



SEAHAWK PTE LTD 最高経営責任者。ノースカロライナ大学卒業。シンガポールでの銀行で約10年間、金融商品のディーリングをした後、2006年までオーストラリアで自己資本を運用するプライベート・トレーダーとして活躍。帰国後、FX業者でディーリングやコンサルティング業務に従事。現在、運用の傍ら投資関連の企画やルール開発を行っている。アドバイザー兼トレーダー仲間として、ラリー・ウィリアムズやジョー・ディナポリ、ラルフ・ピンズから絶大な信頼を得ている。

【用語集】

■COT レポート

COT レポートとは、アメリカの政府機関である CFTC（商品先物取引委員会）が毎週金曜日に公表するもので、そこには、毎火曜日におけるトレーダー種別毎の先物各銘柄ポジション状況などが書かれています。COT レポート自体は CFTC のサイトから無料でダウンロード可能です；

<http://www.cftc.gov/MarketReports/CommitmentsofTraders/index.htm>

■COT レポートインデックス

COT レポートのトレーダー種別毎のポジションをある一定期間の推移を指数化して、0 から100%で表示しています。通常、過去6ヶ月間のポジションの指数化しています。

■取組高

取組高とは、反対売買されずに残っている売買契約の数量のことで、未決済残高または建玉残とも言います。

■シーズナル

シーズナル（シーズナルパターン、シーズナルトレンド）とは、季節性周期のアノマリーです。

■バリュエーションモデル

バリュエーションモデルとは、ラリー・ウィリアムズ氏によって開発されたインディケーターの一つで、国債、金利市場と比較したインディケーターです。割高か割安になっているか示します。

NY 金先物

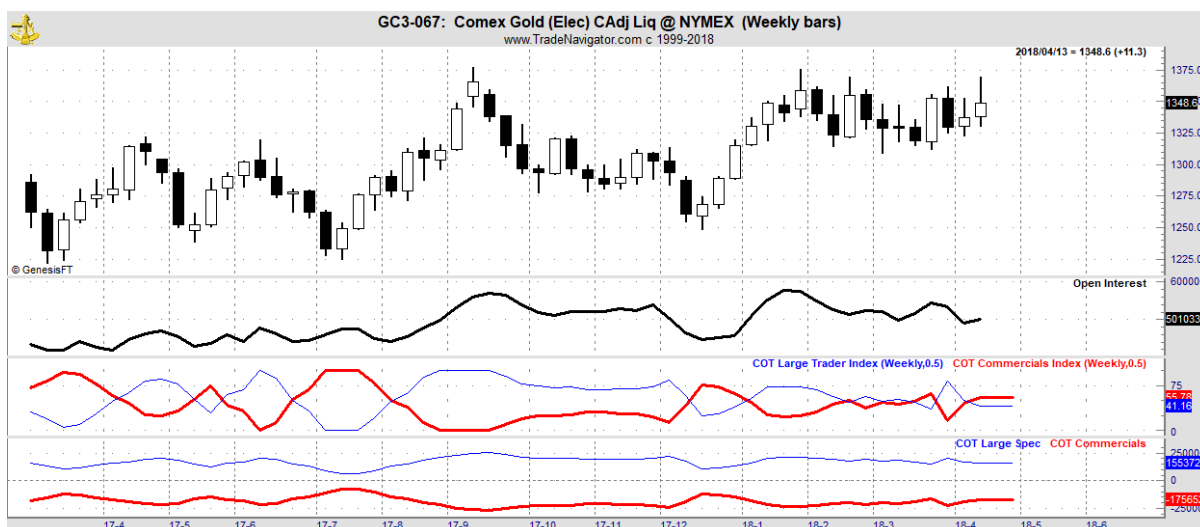


図1 NY 金先物（週足）、取組高、COT レポートインデックス、COT レポートデータ：ジェネシス社

実需筋のコマーシャルズが売りヘッジを少し減らしてきています。引き続き、大口投資家のファンド筋はロングポジションを減らしてきています。1350 ドルの厚い壁を完全にブレイクするには、ファンド筋が買い始める必要があるようです。



図2 データ：ジェネシス社 NY 金先物（週足）、バリュエーションモデル

NY 金先物は米国債市場と比較するとニュートラルになっています。そのため、ゴールドは横ばいに推移する可能性が高いようです。

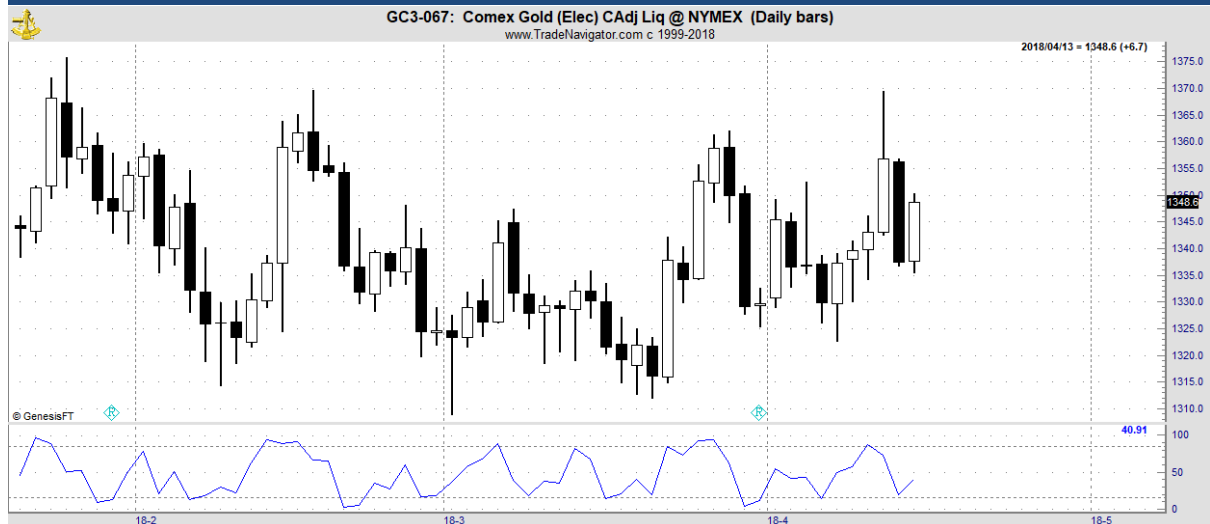


図3 データ：ジェネシス社 NY金（日足）、ストキャスティックス

NY金先物のレンジ：4月9日～4月13日

始値	高値	安値	終値	先週末比
1338.0	1369.4	1330.1	1348.6	0.84%

NY金先物は長く横ばい状態が続いています。1360ドルから1315ドルのレンジ内で推移しているゴールドですが、注目すべきは短期ストキャスティックスとプライスのダイバージェンスです。金曜日に安値を更新していましたが、短期ストキャスティックスは安値を切り上げてきています。先週の金曜日の高値を超えてくると、再び、1360ドルを目指して上昇するでしょう。しかし、金曜日の安値を割って下げてくると一気に1315ドルまで落ちると思います。

■ NY 原油先物

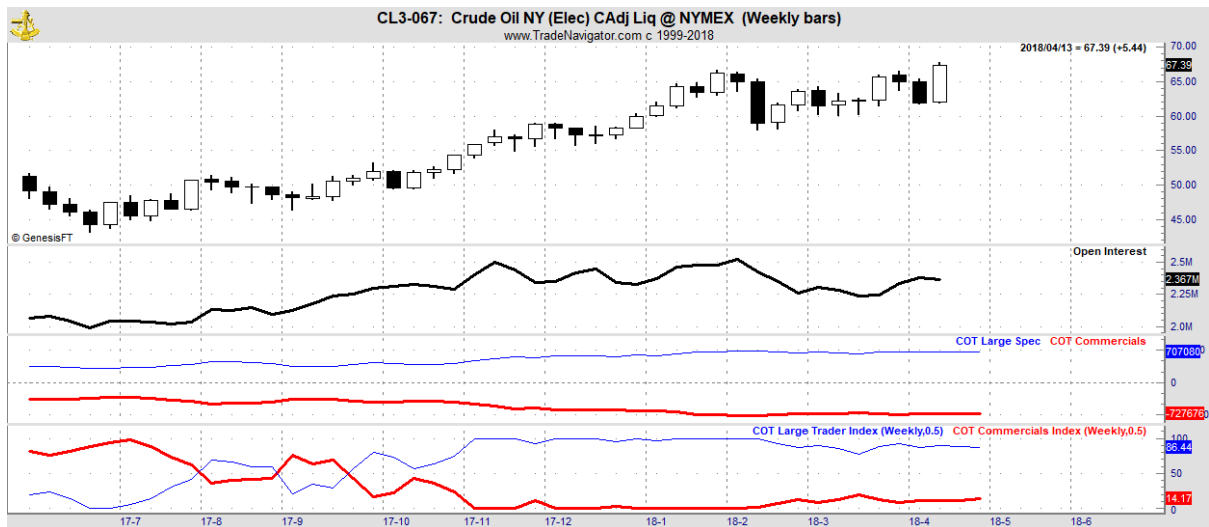


図1 NY原油先物（週足）、取組高、COTレポート、COTレポートインデックス
データ：ジェネシス社

取組高の上昇が止まったようです。実需筋のコマーシャルズと大口投資家のファンド筋のポジションに大きな変化は見られません。アメリカによるシリア空爆予告は原油価格に大きな影響を与えましたが、先週の火曜日の時点ではポジションに変化が出てきていません。先週のレポートに示しましたがアメリカの原油在庫は減少傾向にあるため、原油先物価格は想像より激しく変動しています。

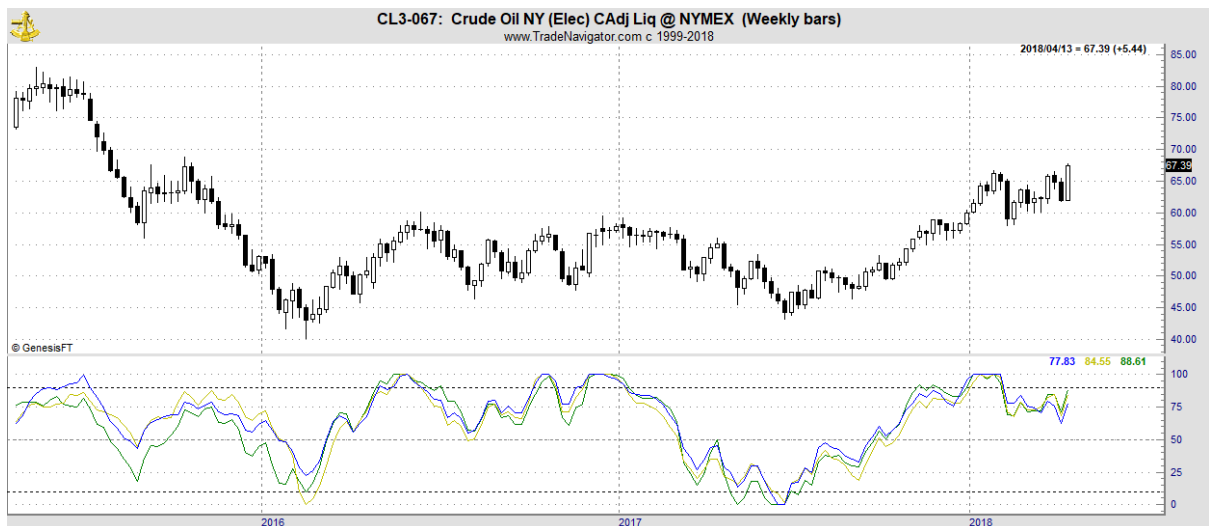


図2 データ：ジェネシス社 NY原油先物（週足）、バリュエーションモデル

NY原油先物（WTI）は、米国債、金、ドルと比べて割高になっています。70ドルに到達してもそれ以上、上げることは難しいと思われます。

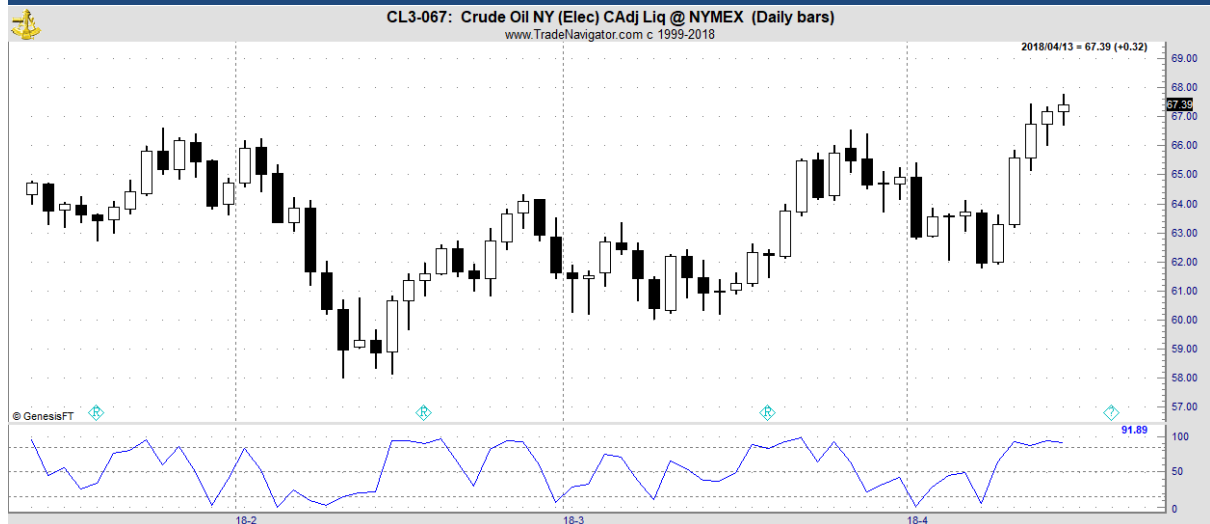


図3 データ：ジェネシス社 NY原油先物（日足）、短期ストキャスティックス

NY原油先物のレンジ：4月9日～4月13日

始値	高値	安値	終値	先週末比
62.00	67.76	61.93	67.39	8.78%

NY原油先物市場は短期的に買われ過ぎになっています。注目すべきは短期ストキャスティックスの頭が重くなっていることです。そのため、前日の安値を割てくると大きく売られるでしょう。

E-mini S&P500 先物

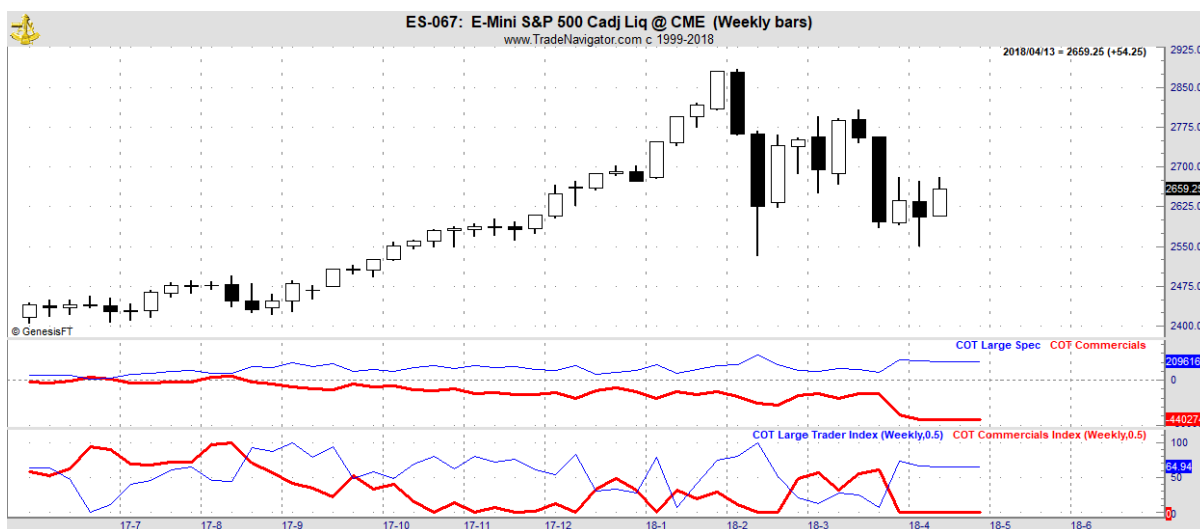


図1 E-mini S&P500 先物（週足）、COT レポートインデックス、COT レポート
データ：ジェネシス社

先週、E-mini S&P500 先物は先週の高値を超えていましたが、実需筋のコマーシャルズは売りヘッジポジションを増やしています。年初来の安値を更新していませんが、コマーシャルズは保守的に売りヘッジを増やしています。そのため、E-mini S&P500 先物の大きな反発は期待できません。

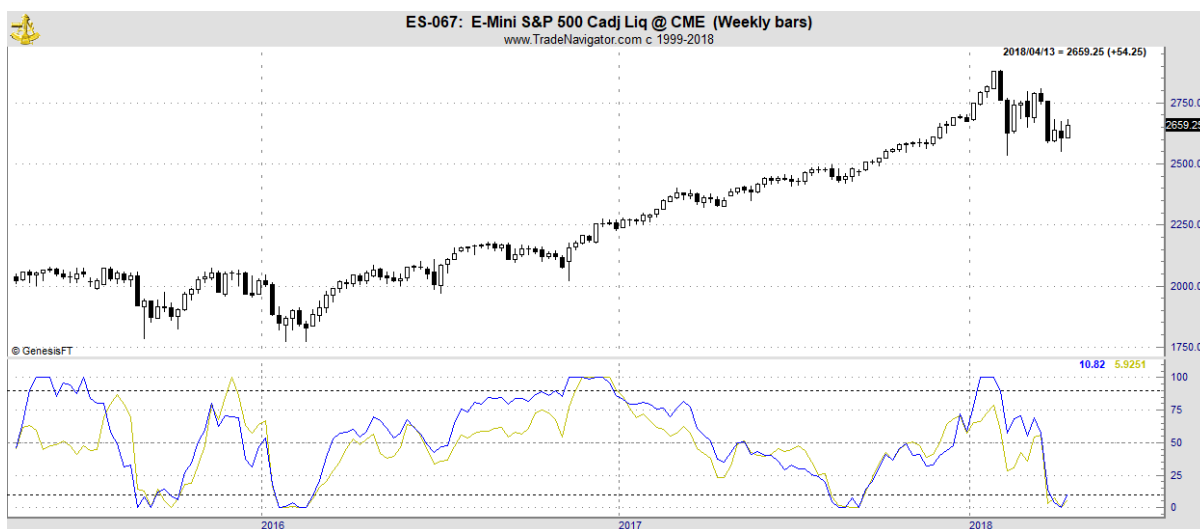


図2 データ：ジェネシス社 E-mini S&P500 先物（週足）、バリュエーションモデル

E-mini S&P500 先物は米国債と金と比べて割安になっています。そのため、反発しやすくなっています。

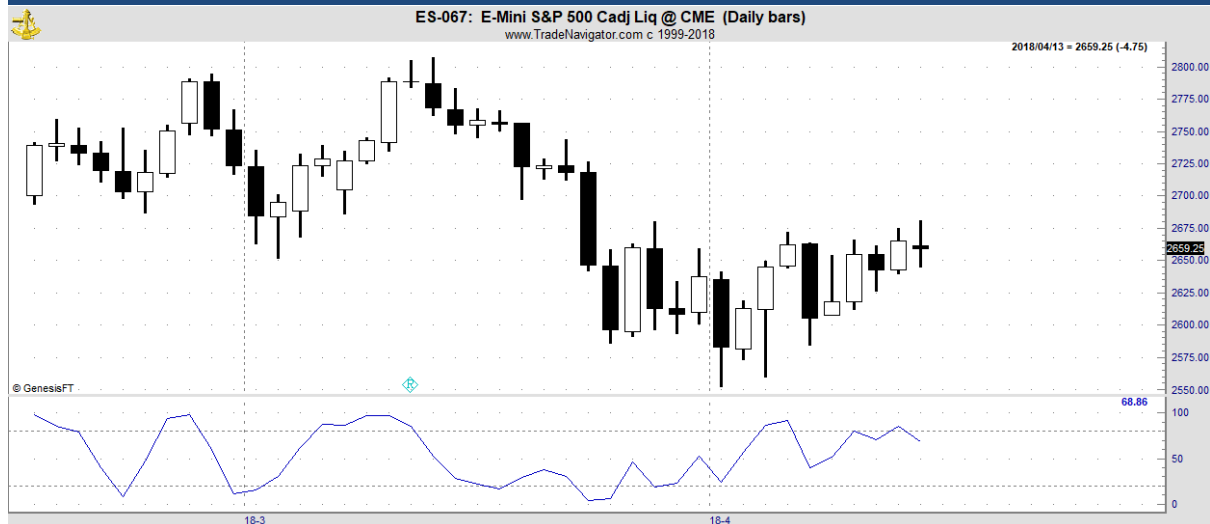


図3 データ：ジェネシス社 E-mini S&P500 先物（日足）、ストキャスティックス

E-mini S&P500 先物のレンジ：4月9日～4月13日

始値	高値	安値	終値	先週末比
2607.50	2680.50	2607.50	2659.25	2.08%

E-mini S&P500 先物は、例年通り、季節性周期的に上げてきました。しかし、短期ストキャスティックスは買われすぎを示しています。一旦、押されてから、E-mini S&P500 先物は上昇に転じるでしょう。

■ CME 日経 225 先物

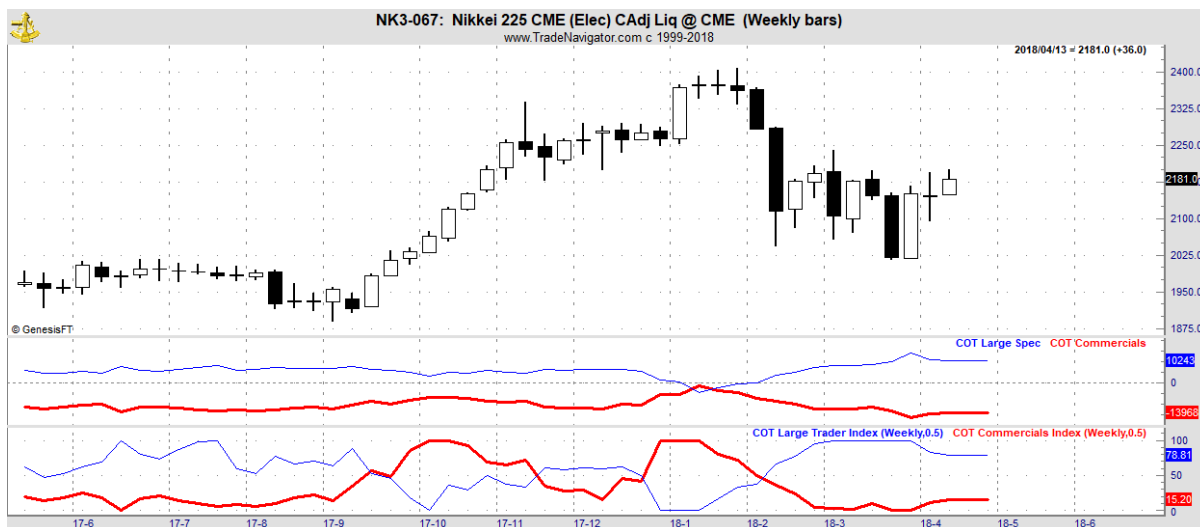


図1 CME 日経 225 先物（週足）、COT レポートインデックス、COT レポート
データ：ジェネシス社

実需筋のコマーシャルズが売りヘッジポジションを解消してきます。そのため、買戻しは予想以上に強くなっています。一方で、大口投資家のファンド筋は目先のロングを売り落ちして、利益を確定させていたようです。

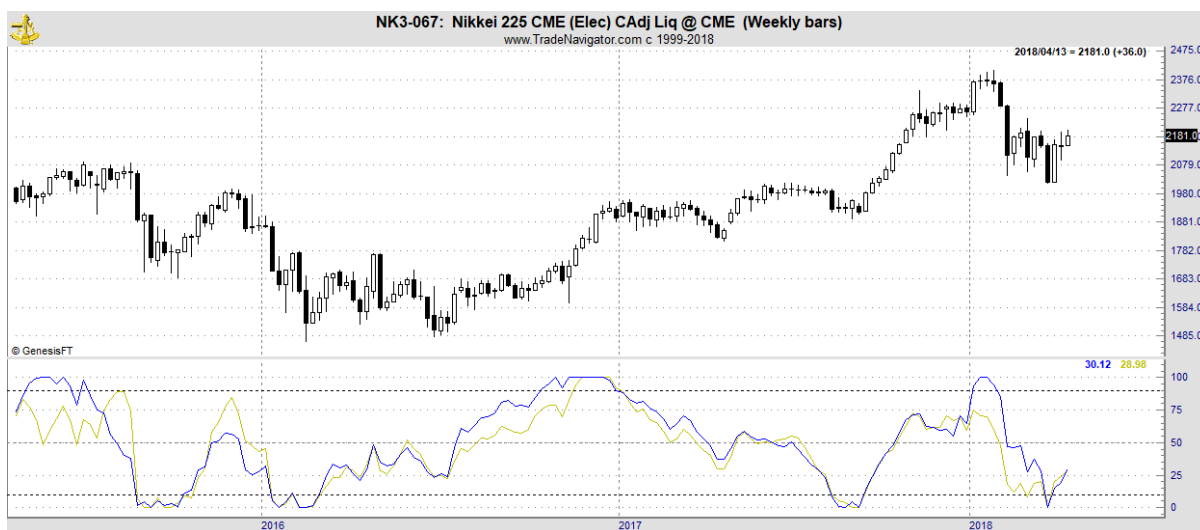


図2 データ：ジェネシス社 CME 日経 225 先物（週足）、バリュエーションモデル

CME 日経 225 先物は、まだ米国債と金と比較して割安になっています。この時期、CME 日経 225 先物は堅調です。予想以上に大きく反発するでしょう。

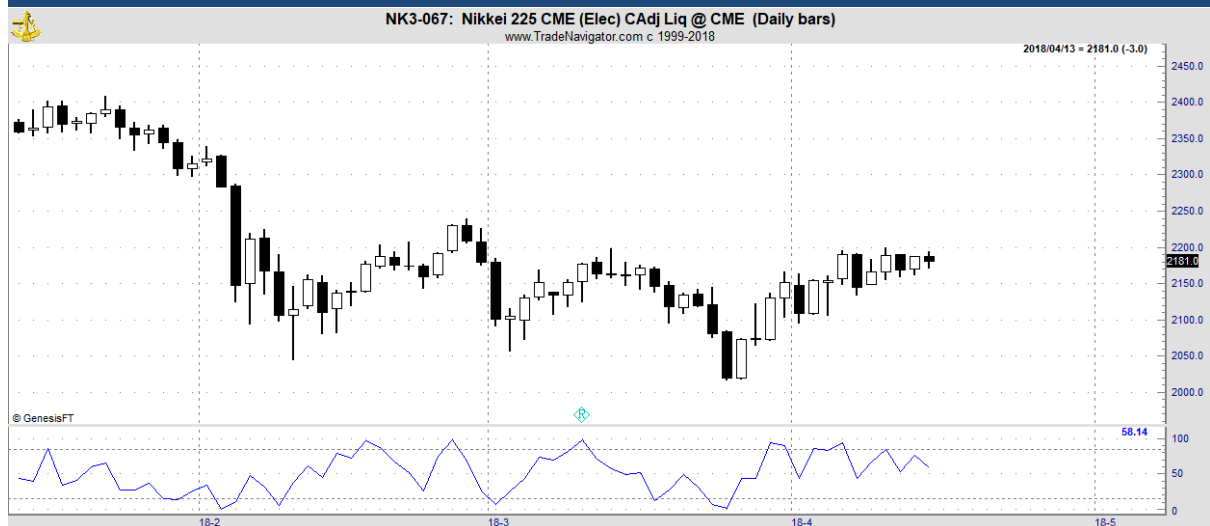


図3 データ：ジェネシス社 CME 日経 225 先物（日足）、短期ストキャスティックス

CME 日経 225 先物のレンジ：4 月 9 日～4 月 13 日

始値	高値	安値	終値	先週末比
21485	21990	21485	21810	1.68%

CME 日経 225 先物の短期ストキャスティックスは頭が重くなっています。22000 円が目先のレジスタンスになっています。一旦、押されてから反発すると思います。

【本レポートについてのご注意】

■本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。

■本レポートは、作成時点において執筆者およびサクソバンク証券（以下「当社」といいます。）が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、執筆者および当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。

■本レポート内で示される意見は執筆者によるものであり、当社の考えを反映するものではありません。また、これらはあくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。

■お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行ってください。本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、執筆者および当社は責任を負いません。

■本レポートの全部か一部かを問わず、無断での転用、複製、再配信、ウェブサイトへの投稿や掲載等を行うことはできません。